実施	平成28年度

事務事業事後評価表

≪基本情報≫

事務事業の名称【1】	競技スポーツ大会補助事業	所管課【2】	生涯学習課
		評価者(担当者)	冨安　崇
総合計画での位置付け【3】	基本目標(章)	③　人をはぐくむまちづくり	重点施策【4】
	主要施策(節)	(3) 社会体育の充実	□該当
	施策区分	(1) 生涯スポーツの推進	
	(市民意識調査結果)	□【A】重点改善領域　□【B】重点維持領域　☑【C】観察領域　□【D】維持領域	
実施の根拠(複数回答可)【5】	□市長公約　□新市建設計画【　　年度予定　:　金額　　千円】		
	☑法令、県･市条例等【 スポーツ基本法、玉名市全国大会等出場激励金交付要綱 】		
	☑その他の計画【 玉名市教育振興基本計画 】　□該当なし		
事業区分【6】	☑ソフト事業　□義務的事業　□建設･整備事業　□施設の維持管理事業		
	□内部管理事務　□計画等の策定事務		
会計区分【7】	☑一般会計　□特別･企業会計【　　】	款 10	項 6　目 1　細目 4

≪事務事業の目的≫

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか)【8】	各種競技スポーツ大会が盛んになっており、小学生から全国大会へ出場する子供たちも増加している。また本市で例年開催されている競技についても、若手選手の育成を目的に実施している伝統競技など、その開催運営費について支援が必要である。
対象(誰、何に対して)【9】	全国大会及び国際大会出場選手(玉名市民に限る)、各大会運営実行委員会
意図(どのような状態にしたいのか)【10】	全国大会等への出場選手並びにスムーズかつ盛会な競技大会の運営のために補助金等を交付し、競技スポーツの活性化及び向上を図る。

≪事務事業の概要≫

事業期間【11】	□単年度のみ【　　年度】	☑単年度繰返し【 H17　年度から】　□期間限定複数年度【　　年度～　　年度まで】
事業主体【12】	□国　□県　☑市　□民間　□その他【　　】	
実施方法【13】	□直営　□全部委託　□一部委託　☑補助金等交付　□その他【　　】	
事務事業の具体的内容【14】	全国大会出場者に対して1万円、国際大会出場者に対して2万円の激励金の交付を行う。また、各競技大会実行委員会に対して大会運営補助を行い、本市のスポーツ振興と競技力の向上を図る。	⇒ 事務事業を構成する細事業【15】 ① 全国大会出場激励金交付事業 ② 金栗杯玉名ハーフマラソン大会事業 ③ くまもと玉名杯全九州高等学校レスリング大会補助金事業 ④ 金栗駅伝大会補助金事業 ⑤

≪事務事業実施に係るコスト≫

			H25年度決算	H26年度決算	H27年度決算	H28年度予算	全体計画
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金　%					
		県支出金　%					
		起債　%					
		受益者負担					
		その他					
		一般財源	10,950	10,930	9,750	11,100	
		【16】小　計	10,950	10,930	9,750	11,100	0
		[再掲]臨時･非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0	
	職員の人件費	職員人工数	2.01	2.19	2.17	2.20	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,424	5,761	5,761	5,761	
		【17】小　計	10,902	12,617	12,501	12,674	
合　計			21,852	23,547	22,251	23,774	

≪事務事業の手段と活動指標≫【18】

事務事業を構成する細事業		手段（細事業の具体的内容）	活動指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画
①	全国大会出場激励金交付事業	全国大会以上の大会に出場する市民に対して激励金を交付する。	激励金交付者数	人	154	183	172	172
②	金栗杯玉名ハーフマラソン大会事業	実行委員会に対して補助を行い大会を支援する。	開催回数	回	1	1	1	1
③	くまもと玉名杯全九州高等学校レスリング大会補助金事業	実行委員会に対して補助を行い大会を支援する。	開催回数	回	1	1	1	1
④	金栗駅伝大会補助金事業	実行委員会に対して補助を行い大会を支援する。	開催回数	回	1	1	1	1
⑤								

≪事務事業の成果≫【19】

	成果指標（意図の数値化）	計算方法又は説明	単位	H25目標	H26目標	H27目標	H28目標
				H25実績	H26実績	H27実績	
1	競技スポーツ大会参加者数	②、③、④の参加者数	人	1,000	970	970	970
				977	1,050	1,231	
2							

≪事務事業の評価≫

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性〈判定〉A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	☐ 問題あり ☑ 問題なし	競技スポーツに対する意識や競技力の向上が図れず、スポーツの振興に影響を及ぼす。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	☐ 問題あり ☑ 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	☑ 影響あり ☐ 影響なし	
有効性〈判定〉A	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	☑ 達成 ☐ 未達成	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	☐ 余地あり ☑ 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	☑ 十分 ☐ 不十分	
効率性〈判定〉A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	☐ 余地あり ☑ 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	☐ 余地あり ☑ 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	☐ 余地あり ☑ 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	☐ 余地あり ☑ 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	☐ 余地あり ☑ 余地なし	

≪今後の方向性と改善≫

今後の方向性【31】	☐ 拡充して継続　☑ 現状のまま継続　☐ 縮小を検討　☐ 休止・廃止を検討 ☐ 細事業の効率化【 ☐ 改善・見直し　☐ 民間活用　☐ 他事業と統合　☐ 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	現状のまま継続し、競技力の向上を図るとともに、スポーツを通じて市の活性化を図る。
昨年からの見直し・改善状況【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

		評価責任者
評価責任者（課長）の所見【33】	競技スポーツを通して、競技力の向上とスポーツ意欲の向上を図る。	板倉　英一